

事業の概況

平成25年度は東日本大震災から3年目の年に入り、地域の産業・お客様の復興に、使命感を持って全力で取り組み、地域経済の発展に努めてまいりました。

主要な経営指標の推移

	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
経常収益	千円	2,693,843	2,765,142	2,814,715	2,666,894	2,617,015
経常利益 又は経常損失(△)	千円	275,479	428,654	△ 989,571	549,536	479,274
当期純利益 又は当期純損失(△)	千円	177,937	△713,070	△ 1,249,638	460,283	398,374
出資総額	百万円	715	710	9,694	9,681	9,672
普通出資	百万円	715	710	694	681	672
優先出資	百万円	—	—	9,000	9,000	9,000
出資総口数	千口	1,430	1,421	1,748	1,722	1,705
普通出資	千口	1,430	1,421	1,388	1,362	1,345
優先出資	千口	—	—	360	360	360
純資産額	百万円	6,258	5,453	22,458	23,451	23,777
総資産額	百万円	128,686	131,322	202,971	225,680	241,521
預金積金残高	百万円	120,822	124,254	168,995	190,488	206,499
貸出金残高	百万円	59,885	60,469	61,701	66,285	63,416
有価証券残高	百万円	30,903	35,544	40,944	43,774	46,034
単体自己資本比率	%	11.68	10.91	36.58	33.00	33.53
普通出資に対する配当金(出資1口当たり)	円	20	10	10	10	10
優先出資に対する配当金(出資1口当たり)	円	—	—	14	100	100
職員数	人	154	157	141	139	138

平成25年度決算概要

預金積金

預金は定期性預金を中心として、160億11百万円(8.40%)増加し2,064億99百万円となりました。また、個人向け国債や投資信託、保険商品の販売額は28億2百万円の実績でありました。

貸出金

貸出金は、震災復興に向けてのグループ化補助金つなぎ融資が一段落したことなどで、28億68百万円(4.32%)減少し、634億16百万円となりました。

損益

経常収益は市場金利の低下等を反映し貸出金利息が減少したこと等により、26億17百万円と前期比49百万円減少しました。経常費用は、物件費等がやや増加したことなどにより、前期比20百万円増加し21億37百万円の計上となりました。その結果、経常利益は前期比70百万円減少し4億79百万円、当期純利益は3億98百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は0.53%ポイント上昇し33.53%であり、地域の産業・お客様の復興に地域金融機関としての使命を果たし得る十分な態勢となっております。なお、平成24年2月に金融機能強化法に基づき、信金中央金庫を通じ180億円の資本支援を受けております。

不良債権処理

金融再生法上の不良債権は5億74百万円減少しました。不良債権比率は0.55ポイント低下し6.34%となっております。

平成26年度事業の展望と課題

4年目に入る震災からの復興を優先的に取り組むとともに、「地域貢献」「顧客貢献」活動の充実強化を図り、地域金融機関としての存在を強固なものにしてまいります。

また、「産・学・官・金」の連携・ノウハウをより強化し、地域経済・地域社会の持続的発展に貢献するとともに、収益力・経営基盤の強化を図り、経営の健全性を確保いたします。

石巻信用金庫

東日本大震災からの復興を目指し、当金庫災害復興方針を推進することに役職員一体となって取り組む。

信用金庫が地域の様々な主体を結びつける役割「つなぐ力」を発揮し、お客様満足度が向上する金融サービスを提供することにより、新たな資金需要を生み出し、地域社会の持続的な発展に貢献することを目指す。



平成26年度事業方針

信用金庫の機能を総動員し、地域、お客様の復旧・復興支援に全力で取り組み、力強い再生を目指す。

お客様に「安心感」と「満足感」を継続的に持っていただける地域密着の総合金融サービス業を目指す。

地域密着型金融の機能強化に向け積極的に取り組み、中小企業の再生と地域経済の活性化を目指す。



事業方針

具体的内容

経営力の強化と安定

●選択と集中、業務の再構築による強固な経営体質の確立

*業務の多様化・高度化に伴う経営リスクの増大に対応して徹底したリスク管理を行い、経営の健全性の向上と安定を図る。

- 経営効率の向上
- 内部管理態勢の強化
- ガバナンス・情報開示の充実
- 高密度チャンネルの有効活用

地域に密着した お客様指向の経営

●お客様との絆を重視した課題解決型金融の強化

*地域における「CSナンバーワン金融機関」を目指す。

*お客様指向に徹した業務運営と金融サービスの提供

- 地域再生への積極的支援と金融仲介サービス機能の強化・多様化
- 地域との連携強化
- 戦略的な地域貢献活動による事業基盤の持続可能性の向上
- 顧客基盤の一層の活用
- 信頼関係に基づいた長期的なサービス提供の充実

専門性を持った 人財の育成と活用

●人財育成と役職員の意識改革による現場力の向上

*「情熱」「責任感」「行動力」のある人財の育成に向けた取り組みを積極的に実施する

*新たな成長分野への進出等お客様のニーズに適時・適切に応え、顧客満足度の向上を目指す。

*役職員一人一人が能力を十分発揮できる体制・組織の構築を目指す。

- 一方で、女性の活躍促進のため、組織風土の改革と制度整備を図る。
- 専門性を持った人財の戦略的な育成・活用